

研究に関するご協力のお願い

一般財団法人脳神経疾患研究所附属総合南東北病院・診療放射線科では、倫理委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。当院における診療情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2024年 8月

一般財団法人 脳神経疾患研究所 附属 総合南東北病院・診療放射線科 神長 優佑

■ 研究課題名

骨 SPECT 画像における再構成条件最適化の検討

■ 研究期間

2023年8月 ～ 2024年8月

■ 研究の目的・意義

骨の SPECT（単一光子放射断層撮影）検査の画像をより良くするためには、撮影条件や画像処理方法の標準化が非常に重要です。現在、県内の多くの医療施設で異なるメーカーや機種 of SPECT 装置が使われており、各施設で撮影条件や画像処理方法が異なるため、得られる画像の品質にも差が生じる可能性があります。このため、診断結果にばらつきが出る可能性があります。この研究の目的は、骨 SPECT 検査の撮影条件や画像処理条件が画像の品質にどのように影響するかを調べ、県内の SPECT 画像の品質を統一することです。つまり、より一貫性のある診断ができるようにすることを目指しています

本研究の大きな意義は、標準的な条件で撮影されたファントム（模擬）画像を使って、撮影条件や画像処理がどのように画像の品質に影響を与えるかを正確に評価できる点にあります。ファントム画像を用いることで、さまざまな条件が画像の品質に与える影響を詳しく分析できます。そして、このデータをもとに実際の検査での画像品質を向上させるための適切な撮像条件や画像処理条件を見つけ出すことができます。

最終的に、この研究が進むことで、骨 SPECT 検査の画像品質に関する基準が確立され、診断の精度が高まることが期待されます。

■ 研究対象となる方

この研究では、転移性骨腫瘍の診断や確認のために当院で骨 SPECT 検査を受けた患者さんが

対象です。転移性骨腫瘍とは、体の他の部分から骨に広がった癌のことです。

具体的には、次の2種類の患者さんが対象になります。

1. 当院で骨 SPECT 検査を受けて、転移性骨腫瘍があると診断された方。
2. 当院で骨 SPECT 検査を受けて、骨に異常がないと診断された方。

■ 研究の方法

対象となる方の診療情報から、性別、年齢、身長、体重、検査に使用した放射性薬剤の投与量、臨床診断、画像データなどの項目についてデータを収集します。

■ 試料・情報の利用を開始する予定日

2023年8月1日

■ 研究組織

この研究の研究事務局は一般財団法人脳神経疾患研究所附属総合南東北病院診療放射線科であり、研究責任者は診療放射線科 神長優佑です。集められた情報の管理責任者は一般財団法人脳神経疾患研究所理事長・渡邊貞義であり、それらの情報は同法人総合南東北病院診療放射線科で利用し解析を行います。

■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関してご質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

問い合わせ先

〒963-8563 福島県郡山市八山田七丁目 115
(一財)脳神経疾患研究所 附属 総合南東北病院
診療放射線科 神長 優佑
電話 024-934-5322 (受付時間：8：30～17：00)